

森の川自然散歩

2017年10月号

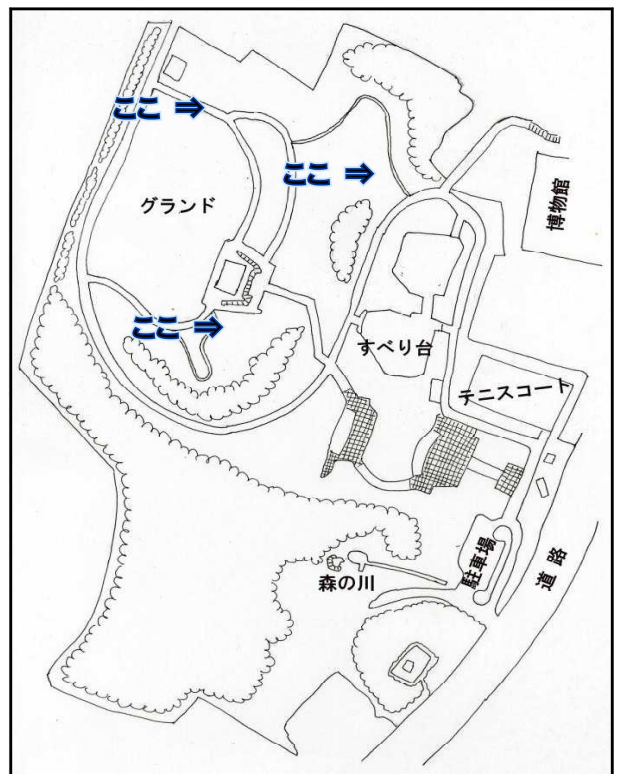


少し早いけど、サシバを見かけたら冬はもうすぐ

上：立ち枯れしたきのうでエサ(?)をくわえているサシバ。

サシバ (メモ) ▶▶▶

- 全長は40 cmくらいの中型のワシタカの仲間。
冬鳥・旅鳥
- 体の色は上面と胸は茶褐色で、胸にはさざ波模様があります。喉と目の上の眉班は白色です。
- 鳴き声は、「チョン、ピー、チョン、ピー」と、高音の鳴き声をしています。
- 森川公園をはじめ、宜野湾では10月くらいから見ることができる。
- 50年くらい前には、沖縄島の上空を群れをなして飛ぶ姿が普通に見られた。現在は飛ぶコースが西寄りにずれているようです。
- サシバが飛び始めると、北風(ミーニシ)が吹き始め、冬が訪れる。



森川公園で見つける不思議

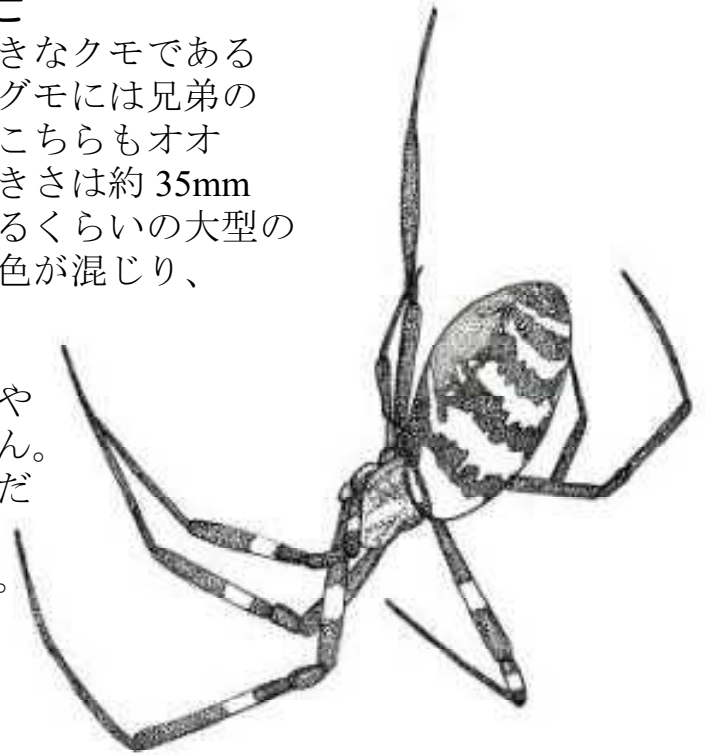
緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(7) なぜ見つからないジョロウグモ

森川公園の夏の名物というと、日本一大きなクモであるオオジョロウグモです。このオオジョロウグモには兄弟のような仲間であるジョロウグモがいます。こちらもオオジョロウグモほどではないですが、体の大きさは約35mmで、脚の長さを合わせたら、手のひらにのるくらいの大型のクモです。体の色も黒と黄色を基調に、赤色が混じり、とてもカラフルできれいなクモです。

ジョロウグモは、沖縄市(嶽山原)から北の森には普通にすんでいます。北谷町や宜野湾市の森からはまだ見つかっていません。なぜ沖縄島の中南部にはいないのかは、まだ分かっていませんが、もしかしたら沖縄島の歴史と関係があるのかも知れませんね。

そのな訳で、もしみんなが宜野湾市内でジョロウグモを見つけたら、すぐに博物館に知らせて欲しいな。とても大きな発見につながるかも知れないよ。



森川公園9月の花ごよみ

ゲットウの実

- 梅雨の頃に可愛い花を咲かせていたゲットウは、夏には青い実をつけます。
- 実の大きさは10～15mmで、花が咲いていた時と同じように並んでついています。
- 実の表面にはよく目立つしわしわがあります。
- パッと見ると、あめ玉のようにも見えるけど、かじると固くて、おいしくないよ。
- 9月の終わりから10月に、実が赤く色づき始めると季節は秋です。

※ よく似た植物 ⇒ アオノクマタケランの実。
アオノクマタケランとは、大きさと色で区別できます。



博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

